



# KIMIOYO



君の音に耳を傾け、共に考える

## 長岡市障害者基幹相談支援センター通信 Vol.15 (2025.1)

クリスマス、お正月……、たくさん食べた。そして微塵も動かず。こんなことが、身体にいい訳はなく。分かっちゃいるけどやめられず。気が付けばフォームはみるみる丸みを帯び……。年が変わってもお腹以外成長していない、そんな「ヘビ」の当年。何はともあれよろしくおねがいたします。



### 「障害者相談支援」について、市内の大学で講義させていただきました

令和6年11月14日(木)、**長岡大学**さんからの依頼を受け、社会福祉概論のひとつコマで講義させていただきました。

**障害福祉、相談支援、基幹相談支援センターの役割**について理解を深めてもらう良い機会ととらえ、支援の現場で起きていることやケースワークの必要性、その内にあるやりがいなどを中心にお伝えしました。



#### 役割は？

##### ○総合的・専門的な相談支援の実施

障がいの種類や一人ひとりのニーズに応じ、どの障害福祉サービスを受けるべきかわからない場合も含め、総合的に相談に応じます。相談支援専門員をはじめとした専門の職員が、困りごとが複雑なケース(困難事例)にも対応します。

##### ○地域の相談支援体制強化の取り組み

相談者に直接対応するだけでなく、地域の相談支援事業者への専門的な助言・指導や、研修などによる人材育成も基幹相談支援センターの役割です。また、連絡会議を開催するなど相談事業者や民生委員ら地域の相談機関との連携強化も推進します。

⇒地域づくり

##### ○地域移行・定着促進の取り組み

障害者支援施設、児童福祉施設や病院から、生活の場を地域に移行する人への支援をおこなっています。具体的には、移行支援協議会等を設置して支援を実施します。

⇒触法ケースなども...

##### ○権利擁護・虐待防止

障がい者への虐待防止の取り組みや、成年後見制度利用支援事業の実施により、権利擁護・虐待防止を図ります。

⇒通報→調査→判断→指導

※当日配布した資料の一部



特に福祉に興味のある学生さんが中心だったこともあり、グループワークでは「自分が相談支援専門員だったら」という想定の上、仮説ケースについて議論を交わし、障害者が地域でより良く暮らすためにはどうしたらいいか？ と意欲的に取り組んでくれている様子が印象的でした。



将来は福祉の現場で働いてみたいって学生さんも、結構いたわね♡

障害福祉に一層興味を持ってもらえるように、これからも頑張ります



学生さんたちに囲まれ満足げなキミヲくんでした.....

児童発達支援センター「柿が丘学園」さんに、おじゃましてお話を伺いました。



長岡市柿町 115 TEL:0258-32-4991 FAX:0258-32-5130  
職員体制:園長 1名 相談支援専門員 2名

Q.柿が丘学園の相談支援事業ってどんなところ？

A. 当園は昭和36年12月に通園施設として開設した市立の事業所です。平成24年の制度改正で児童発達支援センター、地域支援の求めに応じて平成26年10月から相談支援事業を、平成27年4月から保育所等訪問支援事業を行っています。  
現在、療育の経験のある相談支援専門員2名で相談に応じており、今後も就学前の支援に力を入れて専門的な役割を担っていきたいと考えています。

Q. 相談支援の大変さは？

A. お子さんやご両親だけでなく、ご家族全体を見ながら支援をすることが増え、介護のことなど他分野との連携がより重要になってきました。日々職場で相談し合いながら工夫して支援する大変さはありますが、最初は緊張していたご両親のお気持ちが和らいでいく様子や、お子さんの成長を間近で感じられることは大きなやりがいです。

Q. 事業所の雰囲気は？

A. たまにお子さんが事務室に入ってくることもありますが、和やかな職場です。大変さがあっても、移動や昼食時に共有したり、日々の何気ないコミュニケーションも雰囲気づくりに役立っていると思います。

Q. あなたのリフレッシュ方法は？

A. 高森園長→ウォーキングをしています。街を見て、季節を感じて、1~2時間歩いています。細貝さん→ミシンでカバンやポーチを作っています。遠藤さん→多肉植物を育てて増やしています。



昔は火傷すると、ばあちゃんがアロエを貼ってくれたね…。ありがとう、ばあちゃん！(涙)

感傷に浸っているところ悪いけど、多肉植物を直接患部に貼るのは、衛生的にNGみたいよ

～本誌をご活用ください～

研修会をPRしたい、事業所を紹介したいなど、ご要望は障害者基幹相談支援センターまで  
長岡市表町2丁目2番地21(社会福祉センター トモシア2F)  
0258-39-2362 0258-86-0220(FAX) n-kikan-soudan@city.nagaoka.lg.jp